Eth EXTERNAL THERMAL HEATER 取扱説明書

hydor

当品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ETH は水槽の外側で動作するヒーター装置です。ETH の構造を理解していただくために、この説明書をよくお読み下さい。この説明書を保管しておいてください。

重要

- ETHは絶対に水には入れないで下さい。
- 新規セットの際は必ず水が循環している事を確認してから ETHの電源を入れて下さい。
- メンテナンス等で水の循環を止める際は ETH の電源を切って 10 分以上待ち、ETH 内部が完全に冷えてから行って下さい。
- ETH 内部に水がない状態で電源を入れると、故障、破損、水漏れ等、重大な事故につながることがあります。
- 空焚きを行ってしまった場合は、安全のためご使用を控え、新品と交換して下さい。
- 新規セットの際は外出を控え、しばらくは水漏れがないか、正常に作動しているかを確認して下さい。
- オーバーフロー水槽で使用する場合は、逆流防止弁を取付けて下さい。

安全に関する注意事項

注意：使用上における事故や怪我を避けるため、全ての安全に関する注意事項をよく読み、厳守して下さい。

警告

感電の危険性を避けるため、水槽用品を扱う場合は特別な注意を払って下さい。以下に示すどのような場合においても、お客様自身で修理せずに、販売店もしくは国内輸入総代理店である弊社までご連絡下さい。

1. A) 機器を水に落とした場合や機器が濡れた場合、すぐに電源からプラグを抜いてください。
   B) 機器から水漏れなどが発生した場合、すぐに電源からプラグを抜いてください。
   C) 電源ケーブルやプラグにダメージがないか確認してください。ダメージがあった場合、上手く機能しない場合、機器を落とした場合は、機器を操作しないで下さい。電源ケーブルは付け替えたり、修理して使用できません。コードが損傷した場合は本体ごと交換して下さい。
   D) 電源プラグやコンセントが濡れる可能性を避けて下さい。コンセントまたはプラグに水が滴らないように、水槽と水槽台はコンセントが付いている壁と離して設置して下さい。コンセントに接続している水槽機器のすべてのコードに、図に示す「ドリップループ」を施して下さい。「ドリップループ」とは、コンセントまたはコネクターの位置よりも下にあるコードの部分のことです。水がコードを伝わってコンセントに接触するのを防ぐためのもので、必要に応じて、延長コードを使って下さい。プラグやコンセントが濡れてしまったときは、コードを抜かないで下さい。その機器に電源を供給するヒューズまたはブレーカーの接続を切った後に機器のコードを抜き、コンセントに水がついていないかチェックします。
2. お子様が機器の近くにいる場合、細心の注意を払って下さい。
3. ご使用にならない場合や機器を動かす時、パーツを取り外す時または清掃する時には、常にコンセントから電源を外して下さい。その際、コードを引っ張らずにプラグをしっかり持って電源を抜いて下さい。
4. 推奨される用途以外でのご使用は危険を招く恐れがあるためお控え下さい。
5. 外気にさらされる場所や、氷点下の気温での機器のご使用はお止め下さい。
6. 電源を入れる前に、機器が安全な場所に設置されているかご確認下さい。
7. 延長コードが必要な場合、適切な規格のコードをご使用ください。コードのアンペアやワットが機器の定格より低い場合、オーバーヒートの原因となります。コードが引っ張られたり、抜けたりしないように注意して接続して下さい。
8. 本体に水が循環していない状態で動作しますと、空焚きにより故障や火災の原因となります。必ず、本体の電源を切ってから作業を行って下さい。
9. ご使用前に本体内部のガラス管が破損していないか、ホース接続部から覗いて確認して下さい。破損している場合は使用しないで下さい。

取り付け方法

注意：水槽内で作業、手入れを行う前に全ての水中の電気機器の電源を切って下さい。

- 使用中の外部式フィルターに ETH を付ける場合は、流出ホースを切る前に外部式フィルターの電源を切り、ホース内の水が抜けているか確認して下さい。
- 外部式フィルターの排出側のホースを切り、両端を本体の接続部につなげ、ETH を水槽の外側に取り付けて下さい。(図.1)

ETH が必ず垂直に設置されていることを確認して下さい。

- 本体に記されている矢印の方向と水流の方向が一致するようにして下さい。(図.2)

新規セットの際は必ず水が循環している事を確認してから ETHの電源を入れて下さい。

- 外部式フィルターの水の循環を確認し、コンセントプラグを電源につないで下さい。
  ETH 本体の内部に空気が入っていると、修理不可能な損害を引き起こすことがあります。

新規セットの際は外出を控え、しばらくは水漏れがないか、しっかり固定されているか、正常に作動しているかを確認して下さい。

オーバーフロー水槽で使用する場合は、逆流防止弁(別売)を取付けて下さい。

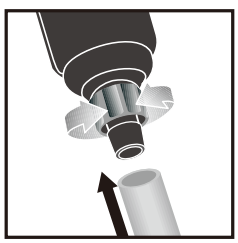


図.1

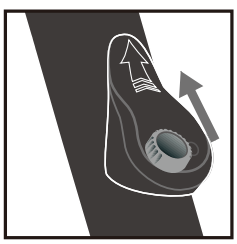
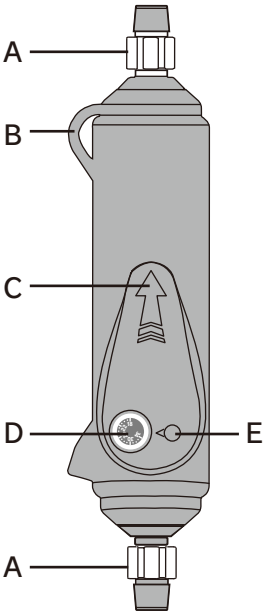
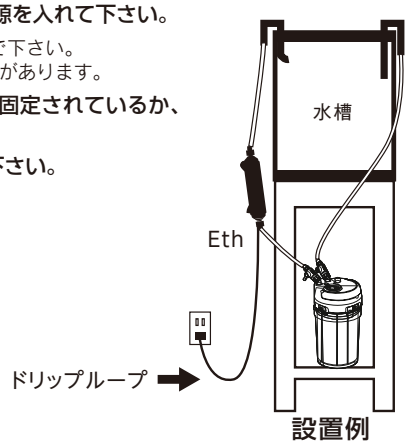


図.2

各部名称

A　ホース接続部
B　ETH の引っかけ穴
C　水流方向表示印
D　温度調節つまみ
E　通電ランプ





設置例

温度調節

水槽内の温度を希望通りにするには、通電ランプにある印に設定したい目盛りの位置が合うように調節つまみ(D)を回して下さい。(図.3)　温度は 18℃から 34℃に設定することができます。
水槽の温度が設定した温度より低くなると、ETH は自動的にヒーティングを始め、作動中にランプが点灯します。

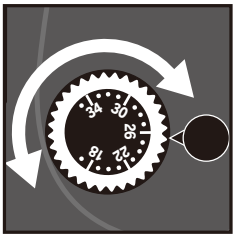


図.3

メンテナンス方法

注意：水槽内で作業、手入れを行う前に全ての水中の電気機器の電源を切って下さい。
溶剤や洗剤などは一切使用しないで下さい。ぬるま湯のみを使用して下さい。

ETH は特別なメンテナンスを要しませんが、ヒーティングチューブ内部の定期的な清掃はコケや石灰沈着物の発生を防ぎ、ヒーティング段階で能率を良くします。
本体の電源を切り、約 10 分間冷えるのを待ち、つながっているホースの中の水を抜いた後、ETH を取り外し、柔らかなブラシを使って内部をきれいにして下さい(図.4)。

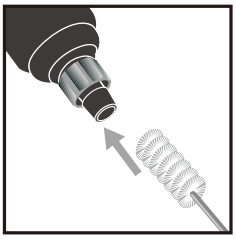


図.4

トラブルシューティング

ETH を設置して 24 時間たっても温度が設定温度に達しない場合には、下記のようにして下さい。
(注意：市販の温度計の中には正確ではないものもあります)

- **温度を正確に設定したかどうか確認して下さい。**
- **コンセントにプラグが差し込んであるか、電圧がかかっているかどうかを確認して下さい。**
- **ETH 本体にある矢印の方向と水の流れがあっているかどうか確認して下さい。**
- **設定温度と室内の温度の差が下記仕様の範囲内であるかどうか確認して下さい。**
- **水槽の水量が下記の仕様と同じであるかどうか確認して下さい。**
- **ETH を通って水が流れているかどうか確認して下さい。**
- **水がきちんと循環しているか、本体内部に不純物、沈殿物などがないか、異物が入っていないかどうか確かめて下さい。何か不純物などが入っていた場合には、電源を切ってから、小ブラシで取り出して下さい(図.4)。**

仕様

※水槽が設置された部屋の最低温度と設定水温の差

品名	消費電力	適合ホース内径	適合水量		全長
			8℃以内※	10℃以内※	
Eth 200	200W	12mm	100~200L	100~180L	29cm
Eth 300	300W	16mm	200~300L	180~250L	30.5cm

コード長さ:170cm、設定可能温度18℃~34℃、50/60Hz共通

輸入・販売元　株式会社エムエムシー企画 レッドシー事業部

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-23-11
E-mail：info@mmcplanning.com
Web：http://www.mmcplanning.com